ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	No.3	調査位置				北　緯	36 ° 34 ' 55.2000 "
発注機関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2009-02-26 ～ 2009-02-28	東　経	140 ° 00 ' 26.5000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	121.76 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	14.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	119.96	1.80	1.80		盛土 (BS)	黒褐～暗灰褐		非常に軟らかい	0.70mまで礫・黒ボク・ロームの混合土 1.60mまでローム・軽石および礫の混合土 下部黒ボク層		
	118.56	1.40	3.20		今市軽石 (Pm)	赤褐～暗赤褐		非常に軟らかい	含水上位，全体的に風化著しく細粒化 下部風化著しく粘土質		
	116.56	2.00	5.20		凝灰質粘土 (CH)	暗褐		非常に軟らかい	含水上位 3.80m付近から有機質で腐植物多く混入 4.50m以深淡青灰色で若干砂質		02/26 3.40
	107.31	9.25	14.45		粘土混り砂礫 (GS-C)	灰褐	中ぐらい		[6.50]上部角礫やや混入 [7.00]φ10～30mmが亜円・亜角礫混在，希にφ60mm程度の礫混入 [8.00]マトリックスは，凝灰質の粗砂を主，部分的に粘土分多く混入全体的に風化礫多く，コアは粘土～細砂状で土砂化している [10.00]10.0～11.5m付近まで粘土分多く礫少ない [13.00]13.0～14.0m間コア長80mmの玉石混入		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1			1／30	1
1.45					
2.15	1			1／45	1
2.60					
3.15	1			1／45	1
3.60					
4.15	1			1／30	1
4.45					
5.15	4	6	8	18／30	18
5.45					
6.15	17	16	17／9	50／29	>50
6.44					
7.15	8	8	10	26／30	26
7.45					
8.15	10	10	10	30／30	30
8.45					
9.15	8	8	7	23／30	23
9.45					
10.15	5	6	7	18／30	18
10.45					
11.15	5	3／5	5	13／25	16
11.40					
12.15	12	12	15	39／30	39
12.45					
13.15	20	10	11	41／30	41
13.45					
14.15	10	12	21	43／30	43
14.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
0.60	3-1		物理	
1.20				
2.00	3-2		物理 力学	
2.60				
3.00	3-3		物理 力学	
3.85				
7.15	3-4	⊖	物理	
7.45				
10.15	3-5	⊖	物理	
10.45				
				02/26
				02/27